

平成 28 年度

心理基礎コース担当教員から指導を受けた修士論文

- ・ノスタルジアの適応的機能における想起内容の役割に関する検討
—ノスタルジアの概念整理を踏まえて—
- ・道具的自己と社会的行動の関連
- ・擬人化エージェントのデザインがユーザーのエージェント認知と機器利用へ及ぼす効果：探索的検討
- ・マインドワンダリングが創造的な問題解決に及ぼす影響
—精神的健康とワーキングメモリ容量の個人差をふまえて—
- ・多様な男性役割の構造の検討
——伝統的な男性役割と新しい男性役割を包括する 4 領域モデルの提案——
- ・福祉事業の企業に伴う新たなアレンジメント形成プロセスの質的検討
—多様なステークホルダーの間で行われる「交換」に着目して—

心理臨床コース担当教員から指導を受けた修士論文

- ・良性／悪性妬みプロセス
- ・反すう思考の生起に影響を及ぼす状況要因の検討
- ・競技に関する親の養育行動と子どものスポーツバーンアウトとの関連
—「統制」の受け止め方に着目して—
- ・中学生の関係性攻撃被操作場面における対応行動の検討
- ・パッションがウェルビーイングに与える影響
—二元モデルの観点から—
- ・LGB のメンタルヘルスの検討—心理媒介フレームワークの視点から—
- ・教師の自殺予防の取組みに影響する要因の検討
—生徒の自殺を防ぐために教師にどのような支援が必要か？
- ・不快な身体感覚に対する思考と健康観・身体症状との関連の検討
- ・相談者のネガティブ感情表出と被相談者の感情コントロールの関連
—カウンセラー候補生を対象として—
- ・ポジティブボディイメージはメディアからの影響を緩和するか？
- ・催眠による記憶想起に関連する外的・内的要因の検討
—暗示の種類と催眠態度・催眠状態信念に着目して—
- ・ソーシャル・サポートの形成，発展，維持についての検討
—プロセスモデルの作成と精神的健康との関連—